

製造業

- ◇パン…学校給食は、食育の中で安心安全に関わっているので、非常に厳しい営業をしている。人体に害のない異物混入等のトラブルでも営業停止になる。混入防止の為に要員を増やし、衛生面の費用も増やしてきているが、生徒数も減少し先が見えない状況である。
- ◇味噌…消費税増税について、事前見積提示、事前案内により取引先・消費者からの理解が得られ、ほぼ転嫁できている。現状、大きな変化は見られないが、今後の売上への影響が懸念される。
- ◇酒…3月の課税移出数量は前年比113%と前年を上回ったが、消費税増税を控えた仮需要が要因と考えられる。焼酎も3月課税移出数量は前年比140.9%と同様の傾向。また清酒輸出は引き続き順調であり、3月は前年比126%と2桁の伸びを示している。更に清酒の国内需要を見ると、特定名称酒の中で純米酒が初めて本醸造酒を上回るという、消費者の純米酒志向が表面化する年となつた。昨年10月より実施している国際空港免税エリアにおける國酒キャンペーンは、26年度も継続実施しており、6月以降も試飲販売が行われる。
- ◇納豆…消費税増税分の上乗せは、ほぼ順調に進んだようである。配達費、ボイラー燃料費、国産大豆の新穀がここへきて高騰している。特に国産大豆は前年の2倍になっている上に、大豆の手当が出来るかも不安視されている。
- ◇菓子…消費税8%になり、前年同月比では売上、収益ともに減少している。月後半は、GW向けの土産品の納品数量が増加してきており、若干だが売上が微増。また、円安により原材料、包装資材等が値上がりしており、業界の経営を圧迫している。特にバターは品不足の為、注文数量が入荷していない状況である。
- ◇繊維製品(袋物)…消費税増税の影響もなく、GW前まで各社ともかなり忙しかった様子。人材不足により、納期切迫と錯覚している場合もあるので見極めたい。
- ◇木材…消費税増税後の景気の落ち込みが懸念されている。住宅需要は駆け込みの反動減が予想され、製品は値下がりとなっている。プレカット工場も4月に入り稼働率が1~2割減少、資材の手当も慎重になっている。先行き不透明感が強く見られている。原木市況も製品市況同様の傾向となっている。
- ◇プレカット…増税後で加工がかなり減少するかと思いましたが、予想より減少幅は小さかった。材料単価も下がってきた。
- ◇段ボール…4月は増税の影響も少なく、売上は前年並み。3月の勢いが4月初めまで続き、それほどどの売上ダウンにはならなかった。しかし、例年GW前に見ら

れる忙しさが今年ではなく、5月の売上が心配される。

- ◇総合印刷…受注条件は依然として厳しい。4月から消費税が上がったが、ほぼ全社で転嫁できている。
- ◇プラスチック製品…ナイルスが(株)バレオに社名変更して以来、更に厳しさが増しており、組合員の中には売上高が激減している者も出始めている。
- ◇コンクリート製品…平成25年度をもって組合員1社、賛助会員1社が退会。
- ◇焼物…春の行楽シーズンを迎え、笠間が一年で一番活気のある季節となった。「笠間の陶炎祭」の準備にも一段と力が入る。準備を整え、お客様をお迎えしたいと思っている。
- ◇鍍金…消費税増税による受注量への影響はあまり見られなかった。受注自体は前年比同程度。今まで好調だった住宅関連機器が減少。原材料は前年度並み。石油製品及び燃料等は上昇。業界全体の景況は、良くもなく悪くもないという状態。
- ◇電化機器…当月の生産高は前年対同月比▲17.5%の755百万円。自動車、家電関連共に2桁台でのマイナス。対前年比マイナスは、上期まで引き続くものと思われる。
- ◇自動車部品…第4四半期はやや持ち直しの傾向が見られるものの、厳しい状況に変化はない。
- ◇工業団地(農機部品)…組合員7社中4社が売上増で、あった(全体増減率100%)。対前年同月比での売上は横這いで雇用人員は106%であるが、対前年下半期平均比では売上は90%、雇用人数は104%となる。今後、消費税増税の影響が出るのか否か、判断困難な状況。中小企業ではリーズナブルな人員調整が難しい状況が見えている。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメントの出荷袋数は前年同月比3.6%の減少。震災発生以前の水準に戻っており、これは年度切り替えから工事の減少によるものと思われる。
- ◇水産卸…精算所取扱高は、前年同月に比べ営業日が1日少なかったことにより0.16%の減少。冷蔵庫は、電気料金アップによりコスト高となり収益を圧迫している。
- ◇食品卸売…4月の取扱高を前年対比でみると、やはり消費税増税後の消費の落ち込みを感じる状況となった。生活必需品である野菜への影響は少ないと思われるが、嗜好品となりつつある果物への今後の影響が懸念される状況。
- ◇県南地区卸売…組合員1名脱退(団地内の土地・建物を売却)、1社加入。
- ◇県北地区共同店舗…消費税増税による影響を悲観し早くも撤退テナントが現れ、士気阻喪感に包まれる。

- ◇**県央地区共同店舗**…消費税増税の影響か、全業種で昨年比を確保できなかった。商業施設開店に伴い、さらに競争が激化した。
- ◇**県南地区共同店舗**…消費税増税前の駆け込み需要の反動が大きく、全業種で大きく前年を割った。これまで客単価は前年を若干上回って推移してきただが、客単価も前年割れしたため反動は大きな影響を及ぼした。
- ◇**家電**…3月末までは自動車業界同様に特需に沸いた。4月に入り、前半は推定2割強ダウン（前月比）、後半もエアコン、冷蔵庫、テレビも減となり、駆け込み需要の反動が厳しい状況を見せた。山高ければ谷深しという状況がどのくらい続くのだろうか。
- ◇**農機具**…増税前までは大型店が販売好調で業界をけん引していたが、4月以降は売上が低迷、特に個人店が苦戦している。
- ◇**中古自動車**…消費税増税前の駆け込み需要の反動が小売店に出てきている。オークションにおいては、4月以降、出品台数が減少し（平均対前年比▲15.3%）、やはり反動が出ている。
- ◇**石油**…ガソリンの販売価格は前年同月比で10円値上がりしているが、消費税増税等の影響により販売量は減少。また、依然として安値販売競争が続いている為、経営環境は改善されず収益状況は悪化、組合員は減少している。
- ◇**ホテル旅館**…海沿いでは、あんこうのシーズンも終わり集客率は減少。今年のGWは並びが悪く、宿泊客の伸びも良くない。新規採用も、追加ではなく昨年の退職者の補充程度のこと。
- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の対前年同月比は、普通車86.1%、軽自動車88.1%と激減である。
- ◇**総合建設**…業種により好況、不況が非常にはっきりしている。専門建設関係職人は人手不足で大変忙しい状況。土木という工事は公共工事がほとんどで民間工事はないと考えてよく、公共工事が発注されなければ、当組合土木専門会社、特に地元ランク中規

模会社は仕事がない。災害復旧工事で思うように利益をあげられない状況が続いた会員各社は、会社の体力がなくなっている経営が追い込まれている。

- ◇**管工事**…増税や年度替わりで減少は想定していたが、予想以上だった。

◇**県北地区運輸**…顧客動向については、年度末の消費税駆け込み需要等の影響並びに前年同月並みの荷動きにより低調となっている。一方、燃料価格は消費税増税に伴い値上となる。また、高速道路料金制度変更に伴い割引変更にて収益はさらに苦しい状況が続いている。

- ◇**県央地区運輸**…3月からの需要の為、前半は仕事（雑貨、生活用品、衣食住）があったが、中頃からは暇になった。但し、ガーデニング用品、加工製品、一般引越は平年通り動く。後半は、連休前に製造業（部品）が一気に動いた。軽油は高止まり、増税もあり経営は苦しいまま。

H26.4月の業界天気図

業種 指標	売上		収益状況	
	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比
食料品業	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
その他製造業	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0
小売業（商店街を含む）	▲ 36.4	▲ 54.5	▲ 54.5	▲ 54.5
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	▲ 60.0	▲ 60.0	▲ 60.0	▲ 60.0
運輸業	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
全体	▲ 28.0	▲ 38.0	▲ 38.0	▲ 38.0

【天気図の見方】県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」（又は、「好転」）業種割合から「減少」（又は、「悪化」）業種割合を差し引いた値（D.I.値）をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。



*表の中の数値は D.I. 値



アキモス 株式会社

<http://www.acmos.co.jp>

— 人と技術と感動を —
プロフェッショナルサービスプロバイダーのアキモスグループです

〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松2713-7
TEL:029-270-5555 FAX:029-270-5531

茨城本部 <茨城本部> つくばオフィス

本社 東京都千代田区神田小川町三丁目26-8
03-5217-3121

JASDAQ 証認コード 6888

茨城県土浦市卸町1-1-1 関鉄つくばビル2F
029-834-3391